

進路だより

(No.29-3)

平成29年9・10月
千葉県立松尾高等学校 進路指導部



松尾高校 (千葉県) 検索 → 進路指導 → 進路だより

1 就職試験始まる

例年どおり9月16日から就職試験が始まりました。これから10月のはじめにかけて、就職希望者32名が就職試験に挑戦します。16日からの3連休には日本列島を台風18号が縦断し、就職試験の実施も危ぶまれましたが、無事、予定していた試験は行われ、ほっと胸をなで下ろしているところです。就職希望者の今年度の活動は4月末に行われた旭市合同企業説明会から始まりました。近隣の高校生と旭市の企業の方が集い、企業の業務内容や理念、採用の方針などについてお話を伺いました。その後、7月1日からの求人票の受付、7月10日からの求人票公開、夏休み中の就職ガイダンス・企業見学を経て、試験に至りました。今年度の求人票の受付数は約800件、これはここ20年の中で一番多い数ということになります。9月15日には、就職試験に向けての壮行会も行いました。試験終了後およそ一週間で結果の書類が届き、10月中旬にはすべての合否が明らかになる予定です。

○夏休みに就職希望者は学校で

7月20日(木)(終業式)の午後、就職に関する校内選考会議が開かれ、就職者の応募先がほぼ決定しました。それを受けて、就職者の本格的な活動が始まりました。

本校では、就職希望者は、夏休みの最初の3週間、7月21日(木)から8月10日(水)までの15日間、平日の午前9時から12時まで出校し、就職ガイダンスを受講することになっています。今年も就職希望者全員が毎日登校し、就職の準備に励みました。そのスケジュールを以下に御紹介いたします。



- ① 9:00 ~ 9:10 点呼、連絡
- ② 9:10 ~ 9:50 企業研究・履歴書作成
- ③ 10:00 ~ 10:50 面接練習
- ④ 11:00 ~ 11:50 一般教養試験対策
- ⑤ 11:50 ~ 12:00 まとめ・点検
- ⑥ 12:00 下校

例年、進路指導部と3学年の職員がそれぞれ生徒数名を担当する形で、履歴書の書き方指導や面接指導、一般教養試験対策講座などを行っています。また、就職希望

者は全員、夏休み中に志望企業へ見学に出かけました。

2 夏季講習行われる

現代文、数学、英語・化学の講習が、夏休み期間の7月21日（木）から行われました。猛暑の中、延べ100名以上の生徒が自分の目指す大学や短期大学、専門学校への進学に向け、勉強に励みました。

また、この進学講習の総決算として、8月10日（水）にはマーク模試、8月25日（金）には記述模試が行われました。

3 夏休みインターンシップに227名

今年の夏休みも、1年生は全員、2・3学年については希望者がインターンシップに臨みました。

1年生161名は合計32社に、また、2・3年生希望者66名は12社7職種のインターンシップに参加しました。特に看護、保育については参加人数が多く、看護24名、保育26名の生徒がお世話になりました。

また、このインターンシップ期間中に、学年主任をはじめ、クラス担任、進路の職員がお世話になっている事業所にお伺いし、生徒の活動状況の把握を行いました。

それでは、インターンシップに参加した生徒の感想の一部を紹介します。

(1)東陽病院(看護)



このインターンシップで特に印象に残っていることは、手術室の見学です。テレビでしか見たことのない光景があり、実際に近くで見ていると迫力がありました。そこでは長時間に及ぶ手術の中で、看護師に必要なだと言われているコミュニケーション能力や優しさの他に、集中力、忍耐力が必要だということを知りました。また、医師と看護師のチームワークのよさがとても印象的でした。

病棟では、看護師さんが些細な事にも気づいてくれ、その柔軟な対応が患者さんが安心して過ごせる環境をつくっているのだと思いました。一人一人の患者さんの状態を把握してそれぞれの最善のケアを考え合い、行動している姿は、キラキラ輝いて見えました。

今回の経験は、看護・医療の仕事を知ることができたというだけでなく自分を見直し、これから自分をいかに成長させるかを考える上でもとてもいい経験になりました。

(2)東陽病院(看護)

私は、このインターンシップのお陰で、ようやく決心することができました。

私は、看護師になりたいと思う一方で、イラストレーターへの道も考えていました。正直言って、イラストレーターになりたいという意識の方が大きかったと言ってもいいくらいです。

しかし、看護師の皆さんの姿を見ているうちに、看護師さんが一番大切にしていることが患者さんに対する心持ちであることを知り、また、看護師さんのあるべき姿を見て、驚かされました。そして、私も人の役に立ちたい、困っている人に手を差し伸べたいと思うようになりました。今回のインターンシップを通して、「今、この現場で仕事をする時、自分はどのような行動をすればよいのだろうか」「どうすれ

ば患者さんの求めていることに応えられるだろうか」とことある毎に考えていました。

将来、私は看護師を目指し、その余暇を利用して絵の勉強もしたいと考えています。

(3) 光町中央保育園 (保育)

インターンシップに参加した最初は、緊張をしまい、自分から動くことができない状態でした。担当の先生や子ども達に声をかけられて初めて動くことが多くありました。しかし、担当の先生から、「自分から積極的に考えて行動することが何よりも大切」というアドバイスをいただき、その言葉がとても胸に響き、今の自分に足りないものを確認することができました。自分から動かなければ、子ども達と深く関わることはできず、反対に不安や緊張を与えてしまうことにも気づきました。

それからは、口調や表情、声の大きさなどを意識してさまざまな年齢の子どもたちとコミュニケーションをとり、今の自分に何ができるかを常に考えて行動するよう心がけました。

この5日間で学んだことや気づかされたことは多くあり、保育士の仕事の大変さややりがいについても改めて感じることができました。今後は、高校生活のいろいろな場面で、活かせることがたくさんあると思うので、それを意識して生活していきたいと思っています。また、より一層保育士になりたいという気持ちが強くなりました。さらに進路実現に向けて頑張りたいと思います。



(4) 九十九里ホーム (介護)

今回私は、九十九里ホーム・ミスヘンテ記念センターでのインターンシップに参加させていただきました。

最初は施設の方に紹介していただかないと、高齢者の方に話しかけることができないような状態でしたが、時間が経つにつれ、自分から話しかけて会話をすることができるようになりました。施設の方を見ていると、皆さん心にゆとりがあり、笑顔でお年寄りの方に接していらっしゃる、それがとても素敵に見えました。

ミスヘンテ記念センターでは、お年寄りが使うトイレトペーパーに右側に設置されているものと左に設置されているものがあります。皆さんはそれがなぜかわかりますか。それは、右手が不自由な方は左側にトイレトペーパーが設置されている方が使いやすいという理由からです。インターンシップのなかでさまざまなことを知ることができました。



高齢者の方には、「この仕事はとても大変だけどがんばってね。」と何度も励まされました。中には認知症の方もいらっしゃって、私にそう言ってくださったことを今では忘れてしまっているかもしれませんが、私がそう言っていたことは確かなことで、この言葉を忘れずに、夢に向かって頑張って勉強していきたいと思っています。本当にいい三日間を過ごすことができました。

(5) バニラ・エア (空港業務)

私は、二日間、成田空港へのインターンシップに参加しました。私はまだ将来の夢が決まっていないので、自分にどのような仕事が合っているかを考えるよい機会になりました。

仕事は、自分が大人になってから定年を迎えるまでずっと続けていくものなので、仕事を決める際には、仕事内容が自分に合っているかはもちろん、その仕事場の雰囲気も知っておくことが大切です。成田空港のバニラ・エアのみなさんは、一人一人が自分の仕事に対して誇りや責任をもっていることが感じられ、それがとてもすばらしいと思いました。自分も皆さんのように誇りをもてる仕事を見つけないかと思いました。



また、航空会社にはたくさんの仕事があることを知り、驚きました。飛行機を一機飛ばすために多くの人に関わられており、チームワークも大切な仕事だと感じました。バニラ・エアの皆さんは、本当に仲が良く、よいチームワークで素晴らしい職場だと感じられました。

仕事内容などはインターネットなどで調べられますが、仕事場の雰囲気は実際に行ってみないとわからないことです。これからも機会があったらインターンシップに参加してみたいと思いました。今回は本当によい経験になりました。

4 進路関係行事 (9・10月)

月	日	曜	特記事項	1 学年	2 学年	3 学年
9	7	木		課題発見	(クラス)	就職者進学者別指導
	14	木		全校模試	全校模試	全校模試
	21	木		プレゼンテーション講座	プロフェッショナルから学ぶ	(クラス)
	28	木	体育祭予行	(体育祭予行)	(体育祭予行)	(体育祭予行)
10	5	木	桔梗祭準備	(桔梗祭準備)	(桔梗祭準備)	(桔梗祭準備)
	19	木	中間考査	(中間考査)	(中間考査)	(中間考査)
	30	月	2年修学旅行	進路ガイダンス(3.4限)		

5 今月のおすすめ本

川上弘美 「神様」(中公文庫)



主人公の「わたし」は「くま」に誘われて川原まで散歩に出かける。わたしが住んでいる部屋の三つ隣の305号室に最近引っ越してきたくまだ。

川の水を見つめていたくまが、大きな魚を捕り、今日の記念にと言って、その場で干物にしてくれる。草の上で二人で食べる弁当。食べ終わった後、くまは大きなタオルを取り出し、昼寝の準備をしてくれる。目を覚ますと、いつの間にか干物が三匹に増えていた。

「いい散歩でした」とくまが言い、わたしが立ち去ろうとすると、「抱擁を交わしていただけますか」とくまが言う。「熊の神様のお恵みがあなたの上に降り注ぎますように」と祈るくま。悪くない一日だった。

